

～私たちは大隅半島初の『田舎 THINK & DO』タンクを目指します～

各分野のスペシャリストでヨソ者による『未来』づくり専門集団
“錦江町 まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 事務局” 本格始動！

4月3日、キックオフセレモニー（辞令交付式）のご案内

『厳しい現実』を逆手にとり、子や孫に希望あふれる『未来』を創り繋ぐため、地方創生に積極的に取り組む鹿児島県錦江町（町長：楠元忠洋）は、去る2月28日、錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会（会長：宮下和久 副町長）を発足させ、錦江町地方創生総合戦略の総称である、錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトを本格的にスタートしました。

中国地方での住民参加型の過疎地活性化活動で名をはせた、錦江町地方創生担当統括監『吉田』の呼びかけに共感し、集結したのは、アフリカで日本人ボランティアと地元住民との地域おこし活動支援に汗を流していたもの。過疎地域で住民に愛されながら地域の未来設計図を描いていたもの。東南アジアで販路開拓すべく孤軍奮闘してきたもの。時には自らが広告塔となり地域ストーリーづくりに励んでいたもの・・・。

海外や全国から様々なスキルを携えて着任した7名の職員が、町の未来づくりのお手伝いをするべく、そのミッションをスタートします。このように多彩な人材を集めた地域協議会事務局の発足は大隅半島では『初』の取り組みです。北緯31度に集う『熱い想いと高い志』を有する者たちの今後の動きにぜひご注目ください。

なお、次の通り職員への辞令交付式を執り行いますので、当日の取材・報道へのご協力をお願いいたします。

■日時・場所

- 1) 日時：2017年4月3日（月）08：30～8：55／10：00～11：00
- 2) 詳細：① **錦江町役場本庁 副町長室（肝属郡錦江町城元 936）**
8:30～8:55 辞令交付、会長訓示、自己紹介挨拶（錦江町役場本庁 2階副町長室）
※当日は08:20までに副町長室へ直接お越しくください。
② **地域活性化センター神川 ※旧神川中学校舎（肝属郡錦江町神川 33306-4）職員室**
10:00～11:00 各職員への追加取材、旧神川中学校オフィス取材（旧神川中学校）

■参考資料

- 1) 錦江町 まち・ひと・『MIRAI』創生協議会に関する概要
- 2) 職員紹介（広報きんこう 2017年3月号掲載分）
- 3) 各種新聞記事

■お問い合わせ・取材のお申込み

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 事務局準備室（役場政策企画課内／3月31日まで）
電話：0994-22-3032（担当：吉田／池之上）

参考 ～『Think&Do tank』について～

Think tank（研究・提言組織）と Do tank（実践組織）を融合した造語です。

たとえ過疎地であっても、現状を緻密に分析して問題の本質を探り、解決に向けた根拠を伴う政策を立案し、各分野で活躍する実践家達とネットワークを結び、町民や行政と共にアクションを起こしていく決意を町内外に示した組織形態です。

錦江町 まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 について

1) 錦江町 まち・ひと・『MIRAI』創生協議会の概要

- I 【事業総称】 錦江町『MIRAI』づくりプロジェクト（錦江町地方創生総合戦略にかかる事業総称）
- II 【組織の位置づけ】 錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトの執行組織
- III 【事務局所在地】 地域活性化センター神川 ※旧神川中学校舎（肝属郡錦江町神川 33306-4）
- IV 【事務局員構成】 6名（青森県出身1名、秋田県出身1名、広島県出身1名、鹿児島県出身3名）
中国地方の過疎地活性化で名をはせた『吉田 秀政』錦江町 地方創生担当統括監率いる専門家集団
- V 【活動キャッチフレーズ】
『厳しい現実』を逆手にとって、子や孫の為に希望溢れる『未来』を創り、繋ごう!!
- VI 【目指す姿】 大隅半島『初』の『THINK & DO』タンク

2) 『MIRAI』づくりプロジェクト概要

I 改革の『土台』づくり

- i 町民や行政職員の『危機感・目的・目標・役割』の共有化と協働意識啓発
- ii 民間主導型『地域づくり』団体による各分野連携型地域活性化活動

II 『しごと』づくり

- i 町内で頑張っている農林水産・商工事業者の『利益増加』や後継者・承継者『誘致』支援
- ii 子ども達が憧れ、町内にUターン就職したいと思えるような未来のビジネス創出
- iii 10年以内に必ず現実となる第4次産業革命を担える人材輩出を強く意識した環境整備
- iv 高齢者の方々による社会貢献型の小規模ビジネス促進

III 『なかま』づくり

- i 錦江町に『住み』、町民や町に良い影響を与えてくれる方を増やす。
- ii 町出身者で町の将来性に可能性を感じて『回帰』してくれる方を増やす。
- iii 錦江町を強かに『応援』してくれる方を増やす。
- iv 錦江町に対して積極的に『投資』してくれる方を増やす。

IV 『ひと』づくり

- i 未来を託す『子ども』と『育児世代』の支援・啓発
- ii 未来づくりを目的とした公民一体型の協働実践活動への理解促進
- iii 健康寿命に拘った高齢者への『心の活性化』づくりと社会参画促進
- iv 人づくりを持続的に支えられる『町内人材』育成

V 『新しい絆』づくり

- i 各世代が『役割』を担い、元気に活躍できる『地域』づくり
- ii ゆるやかに柔らかく繋がり、支え合える『互助関係』づくり
- iii 新住民と在来町民をゆるやかに繋げ、相乗効果を町の力に変える『場』づくり

3) 目指すべき『まちの未来像』（町総合戦略より抜粋）

日本は世界でも類を見ない未曾有の『人口減少・少子高齢化』による右肩下がり社会に突入する。我々は町民とともに厳しい現実を真摯に受け止め、子や孫の世代にきちんと地域を繋ぐために、希望ある『町の未来』を考え、創り、繋がねばならない。

なお、町総合戦略（第1次改訂版）を踏まえ、目指すべき『まちの未来像』を次の通り明確に示す。

- I 住民や移住者が、明日への希望を持ってビジネスや地域づくりにチャレンジできる町。
そして、彼らを本気で応援できる町。
- II になりたいもの、やりたいことがある子供たちが、夢にチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- III 住民と移住者による協働で、世界で勝負できる価値創造型ビジネス創りや新たな集落支援ソーシャル活動等にチャレンジできる町。
そして彼らを本気で応援できる町。
- IV 町民が胸を張って「錦江町に住んでいると」誇れる町。
誇りとワクワク感に満ちた希望の『MIRAI』が想像できる町。

4) その他、特筆ポイント

- I 総務省が進める「お試しサテライトオフィス」のモデル事業を九州で唯一、1万人以下の自治体で唯一採択され、ソフトバンク系 IT 企業やメンタルヘルス研究を得意とする研究機関と連携し、『廃校になった中学校を活用したサテライトオフィス設置によるモニター企業誘致』を行い、企業が求める執務環境、生活環境支援をメンタルヘルスの観点から分析および具体化したニーズへ対応し安定的な企業誘致に繋げるプロジェクトの『事務局』を役場と共に担います。
- II 県内有数の過疎地ならではの課題が多く存在する錦江町を、先端技術（IoT など）活用の実証実験（例：農業、行政、福祉×IoT、AI、センシング等）の場とすべく、環境整備を積極的に進める中心組織です。
- III 【地方議会としては全国初の取り組み】町議会議員全員による移住者支援を目的としたボランティアグループ『あなたの移住応援します隊』の事務局を担い、町民一丸となって移住者支援を推進します。

5) 補足

- I 錦江町では町総合振興計画（平成27年～36年）で定めた町の将来像「ひと輝く・こころ豊かな町」を実現すべく、町地方創生推進本部（本部長・楠元町長）により錦江町総合戦略（第1次改定版）を策定しています。
- II 5月8日（月）、事務所開設記念式典を開催予定です。詳細が決まり次第、別途お知らせいたします。

以上

■お問い合わせ・取材のお申込み

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 事務局準備室（役場政策企画課内／3月31日まで）

電話：0994-22-3032（担当：吉田／池之上）